



【スイス留学.com】

3~18歳のお子様向け正規留学～スイス留学を成功させるための11項目

スイス留学を成功させるために ～スイス留学を決める前に知っておくべき 11 項目～

✓ 世界でも有数の留学先、グローバル社会で活躍するために

スイスは、お子様を留学させるのに最適な国です。治安が良く、政治・経済ともに安定しており、世界でも高い評価を得ている教育機関が数多くあります。スイスの教育環境は、将来グローバルな世界を生きるお子様にとって有意義な時間になるはずです。留学を通じて得る質の高い知識、コミュニケーション能力、社会適応機能、そして、世界中に広がる友情のネットワークは、お子様の将来の可能性を無限大に広げてくれます。スイスには、高い水準の教育を受けられるだけでなく、世界中の国から集まった生徒達とのコミュニケーションを通じて、これからグローバル社会で活躍するために身につけておくべき資質が備わる環境が整っています。

✓ 多文化・多言語に触れるために

スイスは多言語国家です。各地方の地理的・歴史的な理由から使用言語が分かれているため、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語の4つを公用語と定めています。また、英語も使われています。留学されたお子様は日常的に、学校で習得する英語だけでなく、ドイツ語やフランス語など多くの言語を習得できる機会があります。一般的に英語が公用語ではないスイスは、留学先として候補に上がる事が少ない印象があります。しかし、様々な留学先を検討していくうちにスイスが最も良い留学先だと気づかれる方が多いのも事実です。

✓ お子様の将来のために、最良の選択を

スイスへの留学がお子様の将来設計において最良の経験になることが、ご家族にとっても、我々にとって最も重要な願いです。充実した留学生活を送るには、何点か留意して頂かなければいけないことがあります。すでに留学を決意されている方も、確認の意味も含めて、今一度11個の項目を御検討頂けますようお願いいたします。

スイス留学を決める前に知っておくべき 11 項目

①留学する目的

留学前に目的や目標などを明確に設定することが、渡航後の学習や生活を充実させる重要なポイントとなります。また、留学を決意した動機を確認しておくことも大切です。

年齢や時期・滞在期間などによって目的は多岐に渡ります。例えば、将来の志望大学入学の為にスイスで高校卒業を目指す、語学習得の為に小学時代の数年をスイスで過ごすなど目的は様々です。

スイス留学は目的に合わせたプログラムを選ぶことができます。3歳から寮生活ができる低年齢留学も可能ですし、対象学年に合わせたカリキュラムや大学進学に向けたコースなどのプログラムも用意されています。それぞれのお子様が目的や目標を確認しておくことで、留学先のプログラムを探しやすくなり、渡航後も実りある時間を過ごすことができます。

③卒業証書・資格の種類

中学生からの留学をして高校を卒業するまでスイス留学を希望する場合には、学校がどのようなカリキュラムを提供しているか確認しておく必要があります。将来的に目指したい大学や学部があるのならば、どの試験結果を求めているか事前に調べ、その試験用のコースを提供する学校を選ばなければいけません。または、例えば志望ボーディングスクールにIBコースしかないのであれば、IBを受け入れている大学から将来希望する進路につながる大学を選ぶのも良いでしょう。スイスのインターナショナルボーディングスクールが提供している高校カリキュラムは下記の通りです。

＜資格・試験の種類＞

IB(国際バカロア)

IGCSE、AS、Aレベル(イギリスの検定試験)

スイス、フランス、ドイツ、イタリアの大学検定試験

アメリカの高校卒業資格

IBとは？

ここでは、1968年にスイスを拠点として設立された国際バカロア(International Baccalaureate)財団が提供する教育課程や高校終了時の試験合格者に与えられる修了証明書(ディプロマ)を差します。スイスのインターナショナルスクールをはじめ、アメリカやイギリス、日本など、140か国で提供され、世界100か国以上の国の大半、及び、300以上の大学がIBを入学資格として受け入れています。



②言語圏と学校の立地

スイスは多言語国家です。留学先を選ぶ際には、学校の所在する言語圏及び、生活環境も考慮すべきでしょう。

ボーディングスクールの公用語は英語です。しかし、英語とフランス語のバイリンガルの学校や、フランス語、ドイツ語、イタリア語主体のコースが用意されている学校もあります。ただ単に『どの言語で授業を受けるのか』や『どの言語を習得したいのか』ということだけではなく、学区の言語圏や生活環境を考慮すると、更に充実した留学生活を送ることができます。

スイスのボーディングスクールは、ドイツ語、フランス語、イタリア語圏にあります。目的とする言語圏の学校に留学すれば、授業で習ったフレーズを日常的に使う機会が多くなります。それらの環境は、語学学習へのモチベーションを高めるだけでなく、習得に向けての実践的な学習にもつながります。

④言語圏・文化圏の入学人数制限

スイスにあるインターナショナルボーディングスクールのほとんどは、生徒の母国語や国籍など何らかの入学規制を設けています。この制度のお蔭で、母国語の偏りがなく、国際色豊かな眞のインターナショナル環境が実現しています。例えば、イギリスやアメリカの全寮制学校では、その国の生徒がほとんどで、日本人生徒は留学生扱いされます。しかし、スイスのボーディングスクールでは、生徒の国籍が特定の国に偏らない国際的な教育を目的としているので、生徒のほとんどがスイス国外からの生徒です。多い学校では、60か国もの国籍を持つ生徒が在籍しています。このため、どの国から来ても生徒はみんな対等な立場で接し合えるのです。

さらに通常、ボーディングスクールでは、多国籍の生徒たちが楽しく触れ合える多くのイベントを年間行事に取り入れています。日本人だからと疎外されることはありません。

また、他国での留学の場合、日本人留学生は、大半を占める現地出身のクラスメートに受け入れてもらいたいと言う想いから彼らの文化に馴染もうと努力し、次第に日本語や日本の文化に興味が無くなることも少なくありません。

しかし、スイスでは生徒が母国について調べ、発表を求められますので、日本人留学生は、スイス留学中に日本人であることをより認識し、誇りに思うはずです。また、学校は生徒の母国語の教育にも協力的で、留学中に日本語学習を続けていくこともできます。



⑤長期休暇と渡航

スイスのボーディングスクールでは、日本の学校よりはるかに多くの休暇があります。6月から8月、12月から1月に長期休暇が設けられています。休暇中はほとんどの場合、学校は閉鎖され、生徒は寮から出なければいけません。留学生活が長くなると、休暇中にスイス国外のクラスメート宅で過ごすこともあります。通常は2、3ヶ月毎に帰宅(帰国)します。スイス留学をしているお子様のご家庭は「定期的に会えるので、海外留学させていることを忘れてしまう」とおっしゃっていたほどです。一時帰国の頻度や、長期休暇中の過ごし方なども留学前に検討が必要になる項目のひとつです。また、日本から学校までの移動時間や交通手段も、学校を選択する際に重要なポイントとなります。お子様の休暇毎の渡航や、ご家族も年に一度は学校訪問することを考えておかなければいけません。スイスの大半のボーディングスクールは、ジュネーブ空港から電車や車で1~2時間のところにあります。現在、日本とスイスの直通は、成田・チューリッヒ間のみとなり、ジュネーブまでは乗継便となります。このような事情も含め、事前に学校の立地や渡航費用などを検討しておくことをおすすめいたします。

【スイス留学.com】は、お子様お一人での渡航をサポートしています。また、1週間程度の休暇中に一時帰国せず、スイス滞在をご希望されるお子様向けのスイス観光旅行同行サポートもご用意しておりますので、お気軽にご相談ください。



⑥留学開始時期

留学する時期を検討すると共に、学期が切り替わるタイミングを考慮する必要があります。

スイスのボーディングスクールの新年度は夏休み明けの8月下旬~9月上旬に始まります。大半のボーディングスクールは、サマーキャンプを開催しているので、サマーキャンプに参加し、数週間の夏休みを日本で過ごし、夏休み明けから正規留学を開始する生徒が多いです。

しかし、ほぼ通年で受け入れが可能な環境も整っています。日本のように春に学年が終了する生徒向けに春から語学学習メインのコースを設けている学校もありますし、学校の空き状況により冬休み後の学期から受け入れられます。

⑦学費・渡航費用

留学中の学費、また長期休暇などで一時帰国する際の渡航費用なども考慮していただきたい重要な項目になります。学校毎に基本料金に含まれる内容が異なるので、一概には比較ができませんが、学校主催の海外旅行費やお子様とご家族の渡航費、緊急時の費用も考慮して、最低でも年間80,000スイスフランが必要です。安心してお子様をスイス留学に送り出すためには、年間100,000スイスフラン(日本円で約1,300万円※2015年9月時点)をご用意していただく必要があります。お子様が希望されるプログラム、また将来のプランを考慮した上で、費用面も含めた総合的な判断をお願いいたします。



⑧メンタル面でのケアとサポート

留学には、お子様の心のケアとサポートが大切です。特に低年齢からボーディングスクールに留学される場合、「どうしてお父さん、お母さんと遠く離れたスイスで生活をしなければならないのか」をきちんと説明してあげましょう。そして、留学開始前にお子様と心のふれあえる機会を十分にとってください。留学中のお子様が、「成長する私に会うのを楽しみにしている、お父さん・お母さんが日本で待っている」、「お父さん・お母さんが、私の心の支えだ」と思えると、学業にも課外活動にも安心して取り組めます。お子様の心の安定が、全ての基礎であることは言うまでもありません。【スイス留学.com】は、親代わりとなってお子様をサポートいたします。日本語を思う存分話したいときや学校を離れて気分転換したいときには、学校に伺います。



⑨学校訪問の重要性

学校を決定する前に、学校訪問することを強くお勧めします。スイスのインターナショナルボーディングスクールは、それぞれユニークで、特徴的な校風があります。インターネット検索や資料で海外の学校情報が入手できる時代になりましたが、実際の授業や休憩中の生徒の様子を見て、ご自身のお子様が学校で過ごしている姿を想像できるか確認してみてください。

【スイス留学.com】では、学校訪問のアポ取りから、訪問同行サポートを提供しています。空港やホテルから学校への案内、訪問中の通訳など、スイスに初めて行かれる方でも、英語やフランス語で会話ができなくても心配ありません。また、スイスへの渡航、及び、スイス滞在中のホテルや交通手段の手配も弊社で承ります。



⑩留学時の英語力

留学を検討される際に、よく質問にでるのが英語力です。スイス留学では、要求される英語力は学校や教育課程により異なります。小学校卒業前の段階でしたら、ほとんどの場合、語学力は要求されません。IBコースを検討されているようでしたら、中学2、3年生までに留学を開始することをお勧めします。高校2年生の段階で留学生活にも慣れ、英語での学習が問題なくこなせるレベルが求められるからです。しかしながら、お子様のやる気と努力次第で目標を達成することはできます。まずは英語力よりも、留学の目的や目標に沿ったプログラムの選択が重要になります。



⑪文武両道

スイスのボーディングスクールは、学力のみならず、心身の健康にもとても気を配っています。学習時間は集中し、スポーツやアクティビティに興じる時には、思いっきり楽しめます。全校生徒参加が義務になっている登山やスポーツ大会などを通じて、何事にも動じない強さが身にきます。また、冬季にはアルプスなど雪が豊富な地域にある学校は、週に2回から5回ウインタースポーツを取り入れています。スイス留学中にスキーの達人になる生徒も少なくありません。





正規留学の流れ

将来、お子様にスイスのインターナショナルボーディングの正規留学をお考えであれば、今、行動を起こしてください。正規留学予定は数年先でも、お子様にスイスのサマーキャンプを体験させたり、ご家族で学校訪問をしたりして、正規留学の準備を始めてください。

典型的な流れとしましては、留学前年の春や秋に学校を訪問し出願校を決めます。年末には出願資料を学校に送付しておくのが理想です。年明けには9月からのスケジュールが確定するので、日本の学校での必要な手続きや渡航の手配などを余裕をもってできます。弊社は、スイス現地で学校と密に連絡を取り合っています。【スイス留学.com】へのお問い合わせは、スイス留学への第一歩です。

スイスの正規留学Q&A: <http://swiss-ryugaku.com/seikiQA>

**スイスのサマーキャンプ・正規留学について、
下記の一つにでも当てはまる方は、まずはカウンセリングをご予約ください。**

- ▶ 入学したいスイスのボーディングスクールがほぼ確定している
- ▶ スイスのボーディングスクールを決めかねている
- ▶ スイスのボーディングスクールの申し込みのアシスタントをして欲しい
- ▶ お子様がスイス留学中、スイス現地でサポートをして欲しい

お子様のスイス留学を成功に導くパートナー

3歳から高校生までのスイス正規留学、短期留学(サマー・ウインターキャンプ)、体験留学の事なら、まず【スイス留学.com】にお問い合わせください。【スイス留学.com】代表 田山貴子が、ご家族のご要望を沿い、お子様一人ひとりに合ったサポートをご提供いたします。

お子様の留学をお考えなら、まずはお問い合わせください。

URL : <http://swiss-ryugaku.com>

メールアドレス : info@swiss-ryugaku.com

留学相談日本国内電話番号(予約制) : 050-5539-5258

代表取締役社長 田山 貴子

SwissJoho.com GmbH 所在地 : Birkenweg 17 3072, Ostermundigen/Bern, Switzerland